

強飯式

令和5年4月2日(日)

※令和5年の強飯式は受者・参列者なしにて法要のみ執り行います。

於：日光山輪王寺 本堂(三仏堂)

祈祷料 3,000円 授与物 福杓子祈祷札・福米



日光山と強飯式

強飯式は、全国でも日光山だけに古くから伝わる独特な儀式です。江戸期には、徳川將軍家の名代や全国の名だたる大名たちも「わが藩の名誉」として強飯式頂戴人に名を連ねました。というのも日光山といえば天皇の皇子を「輪王寺の宮」として迎えた鎮護国家の道場として天下に知られ、大名といえども、おいそれとはこの儀式に参加できなかったからです。

七難即滅・七福即生

強飯頂戴人^{ちょうだいにん}として儀式に参加したり、御札を授かると、多くの御利益が得られると云われます。それは「三天合行供」という当山伝統の秘法が行われるからです。昔から「この秘法を受けた者は、七難即滅・七福即生の現世利益疑いなし」と語り継がれ、今日に至っています。

福杓子祈祷札と福米

強飯式は、文字どおりメシ^しを強いる儀式ですから、ご祈祷を申し込まれた方には、御札と福米をお授けいたします。御札は、シャモジ型です。たくさんの福を家庭に盛り上げる意味があり、五色の帯は、健康運・家庭運・財産運・事業運・除災運の五つを表します。福米は、食事の際ご家族みなさんで食して下さい。御札は、仏壇や神棚など、高い処に一年間お飾り下さい。

【お問合せ】

日光山輪王寺 教化部 栃木県日光市山内2300 TEL0288-54-0531

